

令和6年度 ハッピーハート木戸 自己評価総括表

保護者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 保護者対象者数:29 回答:25

従業者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 従業者対象者数:7 回答:7

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援体制	情報共有の徹底。 子どもたちが安全に過ごせる空間づくり。 統一性を持っておこなう支援。	施設内研修や外部研修等に参加し、支援の質の向上を図る。
2	多様な活動プログラムの提供	子どもたちの成長、個別の目標に合わせた活動の提供。 子ども同士での助け合いや協力ができる活動内容。 生活に活かせる動作を取り入れた活動の提供。 一人ひとりが意欲をもって参加できる活動の提供。	情報収集、研修への参加で、支援の質の向上、内容の充実を図っていく。 子どもたち一人ひとりの、3年後や5年後など将来像を見据えた活動計画を立てていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ等との交流	コロナ禍の開所であった為、他の子と交流することに制限があった。その後も交流の機会については、感染予防の意識から積極的になれなかった。	必要に応じ感染対策をしながら、おでかけなどを通して、地域の子ともたちと交流する機会を設けていく。また地域に限定せずにハッピーグループ内の子ともとの交流の機会も設けていく。
2	保護者が参加できる研修や交流会	地域で行われる研修会や交流会の情報提供はしているが、内容について説明不足であった。また、感染予防の意識が強く残り、集団で集まることに抵抗があったため、機会を提供できていなかった。	今後も、研修会などの情報を提供をしていく。内容についても詳しく説明していく。 職員とご家族様が、一緒に参加できる研修の機会を設けていく。